

2015年4月22日 全7頁

Indicators Update

3月貿易統計

貿易収支は2年9ヶ月ぶりの黒字

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 橋本 政彦

[要約]

- 2015年3月の貿易統計では、輸出金額は前年比+8.5%と7ヶ月連続の増加となり、増加幅は前月（同+2.5%）から拡大した。また、輸入金額が同▲14.5%と大きく減少した結果、貿易収支は+2,293億円と2年9ヶ月ぶりの黒字に転じた。
- 輸出金額を価格要因と数量要因に分けて見ると、円安による押し上げを主因に輸出価格は同+5.1%と上昇幅が拡大したことに加えて、前月に減少（同▲2.1%）していた輸出数量が同+3.3%と増加に転じたことが輸出金額を押し上げた。季節調整値で見た輸出金額も前月比+3.7%と2ヶ月ぶりの増加に転じており、前月に中華圏の春節の影響もあって大きく減少した輸出金額は均してみれば増加基調を維持している。
- 貿易収支の先行きについては、海外経済の回復を背景に輸出数量が増加基調となることで、黒字幅は緩やかな拡大傾向が続くと予想している。ただし、ここ数ヶ月間、貿易赤字が急速に減少する要因となった原油価格の下落に歯止めがかかりつつある。加えて、内需の拡大に合わせて輸入数量も増加基調になる見込みであることから、貿易黒字拡大ペースは減速する公算が大きく、ゼロ近傍での推移が続くとみている。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2014年						2015年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
輸出金額	3.9	▲1.3	6.9	9.6	4.9	12.8	17.0	2.5	8.5
コンセンサス									8.5
DIR予想									8.5
輸入金額	2.4	▲1.4	6.2	3.1	▲1.6	1.9	▲9.1	▲3.6	▲14.5
輸出数量	1.0	▲3.0	2.8	4.8	▲1.7	3.9	11.1	▲2.1	3.3
価格	2.9	1.7	4.0	4.6	6.7	8.6	5.3	4.7	5.1
輸入数量	▲0.4	▲4.6	3.0	▲1.8	▲6.9	▲1.8	▲6.3	4.5	▲10.3
価格	2.8	3.3	3.2	5.1	5.8	3.8	▲3.0	▲7.7	▲4.6
貿易収支	▲9,665	▲9,532	▲9,620	▲7,418	▲8,988	▲6,656	▲11,738	▲4,250	2,293

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

貿易収支は2年9ヶ月ぶりの黒字

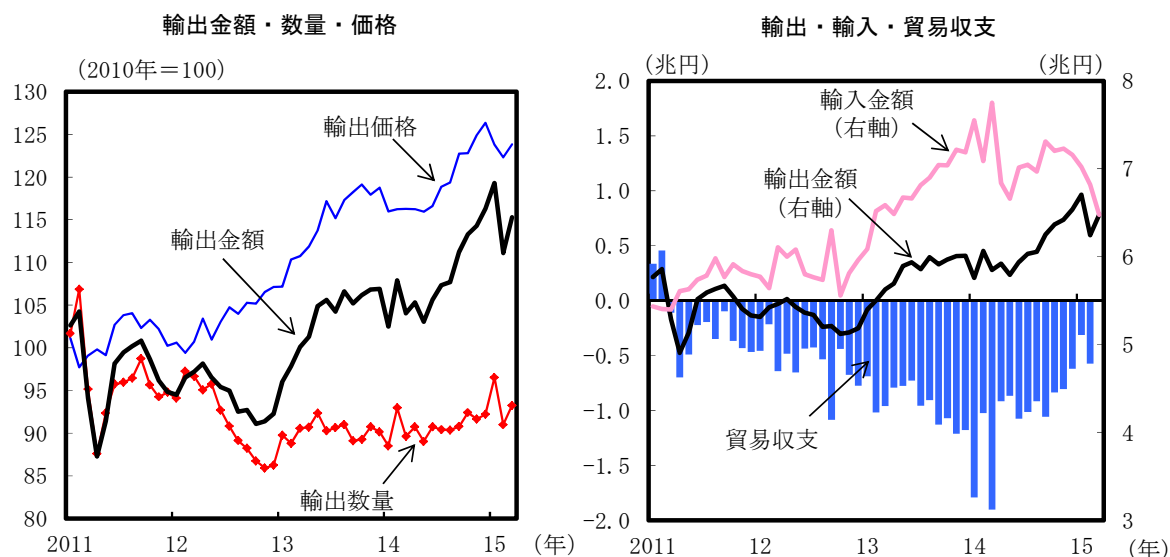
2015年3月の貿易統計では、輸出金額は前年比+8.5%と7ヶ月連続の増加となり、増加幅は前月（同+2.5%）から拡大した。また、輸入金額が同▲14.5%と大きく減少した結果、貿易収支は+2,293億円と2年9ヶ月ぶりの黒字に転じた。

輸出金額を価格要因と数量要因に分けて見ると、円安による押し上げを主因に輸出価格は同+5.1%と上昇幅が拡大したことに加えて、前月に減少（同▲2.1%）していた輸出数量が同+3.3%と増加に転じたことが輸出金額を押し上げた。季節調整値で見た輸出金額も前月比+3.7%と2ヶ月ぶりの増加に転じており、前月に中華圏の春節の影響もあって大きく減少した輸出金額は均してみれば増加基調を維持している。

2015年3月の輸入金額は、前年比▲14.5%と3ヶ月連続の前年割れとなった。原油価格下落を主因に輸入価格の下落（同▲4.6%）が続いていることに加え、高水準だった前年の裏が出る形で輸入数量が同▲10.3%と大幅に減少したことが輸入金額を押し下げた。季節調整値で見た輸入金額も前月比▲5.0%と、4ヶ月連続の減少となっており、原油価格の下落を主因に減少傾向をたどっている。

この結果、貿易収支は+2,293億円と2年9ヶ月ぶりの黒字となった。輸出の増加と、原油安による輸入の減少に加えて、3月は輸出金額が多い月であるという季節性が貿易収支黒字化の要因となった。ただし、季節調整値で見た貿易収支についても、+33億円と2011年2月以来の黒字となり、基調として貿易収支は黒字化の方向に向かっている。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



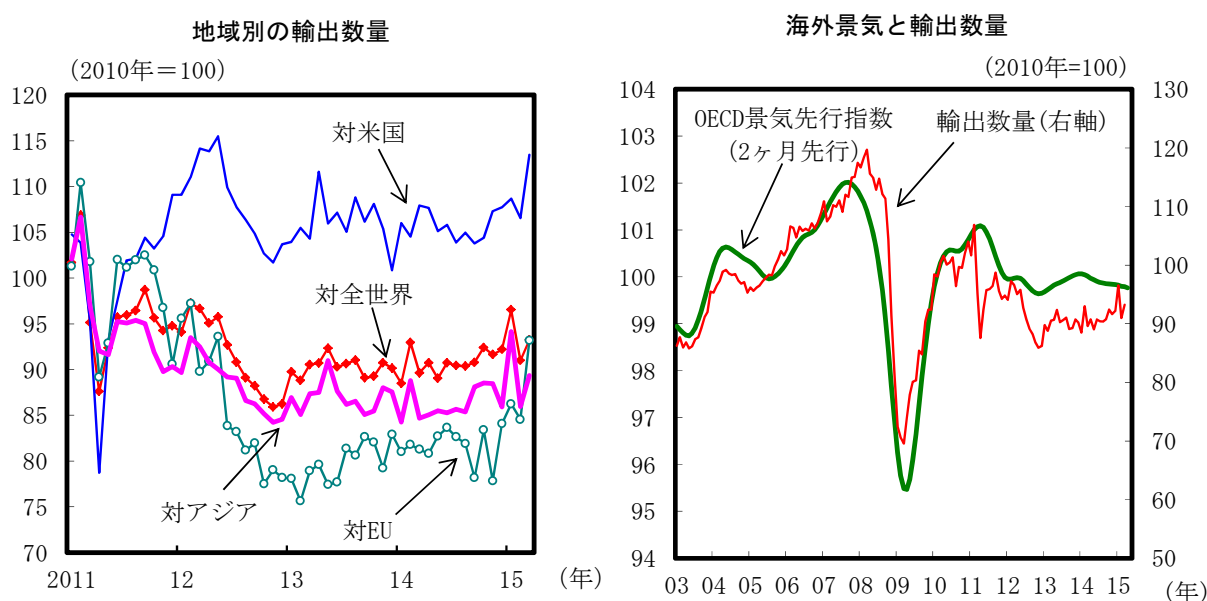
(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出数量は2ヶ月ぶりの前月比増加、EU向けが押し上げ

輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比+2.5%と2ヶ月ぶりの増加となった。地域別に見ると、米国向けが同+6.5%、EU向けが同+10.2%、アジア向けが同+3.9%と、いずれの地域向けも増加、特にEU向けの高い伸びが全体を押し上げた。アジア向けについては、春節による振れを均せば概ね横ばい圏での推移となる中、米国向け、EU向けで増勢加速の兆しが見られている。

前月比ベースの輸出数量の動向を地域別・品目別に見ると、米国向けについては、主力製品である自動車が増加したことに加えて、このところ好調を維持している一般機械輸出の増加が押し上げ要因となった。EU向けについても、2014年末頃を底に持ち直しの動きが続いている自動車の増加が全体を押し上げた。アジア向けに関しては、春節の影響により前月大きく落ち込んだ中国向けの持ち直しが押し上げに寄与した。幅広い品目で輸出が増加したが、特に化学製品、一般機械が大きく増加した模様である。アジアNIEs向けに関しては、一般機械、自動車を中心に増加した。一方、ASEAN向けについては自動車の減少が足を引っ張ったことから低調な結果となった。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

貿易収支はゼロ近傍での推移が続く見込み

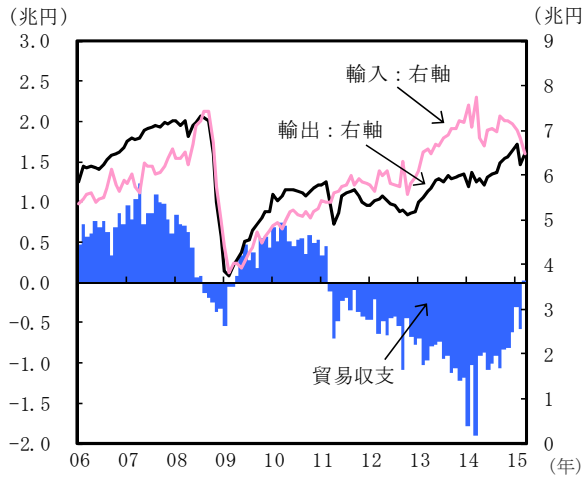
輸出の先行きに関しては、海外経済の回復に伴って、数量ベースでの増加基調が続くとみている。輸出相手先別に景気動向を見ると、米国では、このところ天候要因による下押しなどもあって増勢が鈍化しているものの、底堅い景気拡大が続いている。米国向け輸出の主力製品である自動車については、国内メーカーの現地生産化の進展によって伸び悩みが続くとみられる

ものの、足下で増勢を強めている資本財輸出を中心に増加基調が続くものと考えられる。欧州経済についても原油価格下落や ECB による量的緩和の効果などから持ち直しつつあり、欧州向け輸出も緩やかな増加傾向となるだろう。アジアに関しては、中国の景気減速は懸念材料であるものの、米国依存度が高い中国以外のアジア新興国経済は、米国の景気拡大に牽引されて景気回復ペースが加速すると予想される。また、アジア向け輸出については欧米を最終需要地とした生産財輸出のウエイトが高いこともあり、足下で堅調な電子部品等を中心に増加が続く見通しである。

貿易収支の先行きについては、海外経済の回復を背景に輸出数量が増加基調となることで、黒字幅は緩やかな拡大傾向が続くと予想している。ただし、ここ数ヶ月間、貿易赤字が急速に減少する要因となった原油価格の下落に歯止めがかかりつつある。加えて、内需の拡大に合わせて輸入数量も増加基調になる見込みであることから、貿易黒字拡大ペースは減速する公算が大きく、ゼロ近傍での推移が続くとみている。

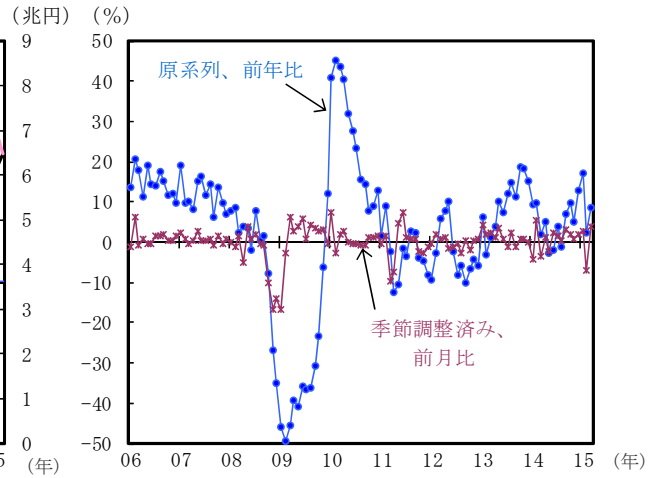
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

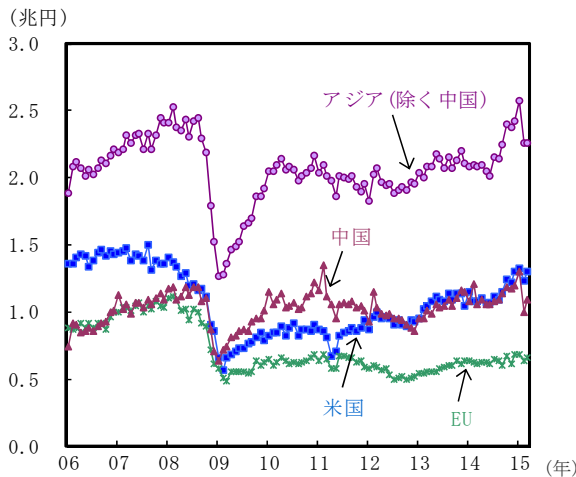


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

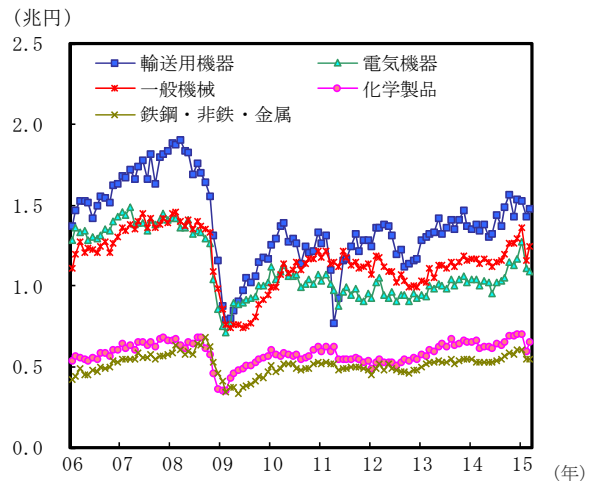


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

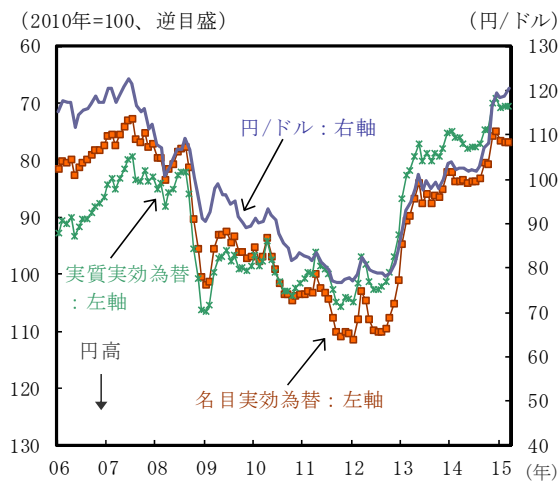


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

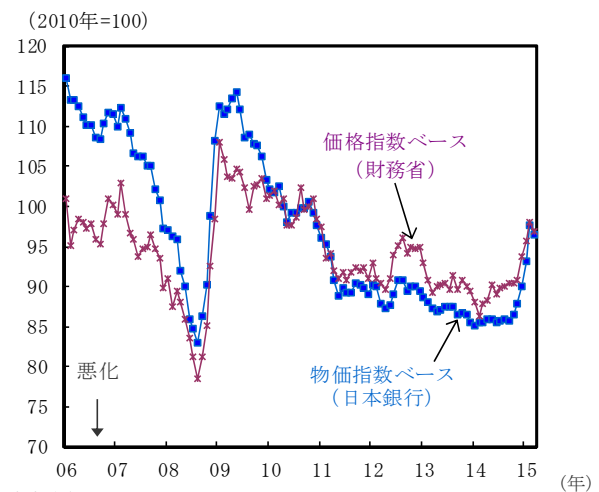


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01	2015/02	2015/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.6	4.9	12.8	17.0	2.5	8.5	100.0	8.5
食料品	20.2	12.2	10.7	52.3	17.9	27.8	0.7	0.2
原料品	1.8	2.4	9.7	10.1	▲7.5	5.8	1.6	0.1
鉱物性燃料	▲9.0	▲1.6	12.1	0.3	▲16.0	▲37.6	1.3	▲0.9
化学製品	8.7	3.5	7.7	7.6	▲9.5	5.5	10.4	0.6
原料別製品	9.0	4.5	9.5	12.9	3.0	5.2	12.6	0.7
鉄鋼	11.8	4.9	11.7	10.0	4.2	0.7	5.3	0.0
非鉄金属	8.3	12.9	6.5	16.9	7.5	10.1	2.0	0.2
金属製品	5.1	▲1.8	7.7	18.7	▲2.5	7.3	1.6	0.1
一般機械	9.8	6.2	11.4	16.8	▲0.6	10.3	20.8	2.1
電気機器	10.8	7.4	13.9	23.1	6.0	8.4	16.8	1.4
半導体等電子部品	8.7	14.7	17.8	24.1	10.1	12.4	4.8	0.6
I C	8.6	15.0	21.1	23.3	11.1	12.3	3.2	0.4
映像記録・再生機器	▲14.0	▲13.3	▲17.9	31.8	▲2.9	▲26.1	0.5	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲18.1	▲18.0	▲8.9	13.3	▲4.1	▲2.3	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	14.4	5.5	12.2	21.7	5.6	9.8	2.4	0.2
輸送用機器	10.6	▲2.9	10.9	13.1	4.1	10.0	23.3	2.3
自動車	6.2	▲0.7	12.5	12.7	8.8	10.5	14.6	1.5
自動車の部分品	3.0	▲3.3	5.7	6.3	▲1.8	6.5	4.5	0.3
その他	10.9	18.1	26.6	33.8	14.8	17.8	12.4	2.0
科学光学機器	12.4	12.6	14.5	22.2	▲1.8	5.8	3.2	0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01	2015/02	2015/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.9	6.8	23.7	16.5	14.3	21.3	100.0	21.3
食料品	19.4	14.6	28.2	22.9	28.1	26.0	0.6	0.1
原料品	▲39.9	74.3	60.8	16.3	9.0	17.8	0.5	0.1
鉱物性燃料	22.2	522.3	4.7	1807.3	0.8	2.6	0.2	0.0
化学製品	5.9	14.7	36.0	9.4	3.1	20.4	6.1	1.3
原料別製品	22.6	20.7	40.5	19.7	16.1	18.5	7.3	1.4
鉄鋼	8.8	41.8	67.7	28.4	13.6	1.9	1.9	0.0
非鉄金属	64.5	29.0	33.9	23.0	26.3	64.9	0.7	0.3
金属製品	15.0	6.2	24.2	6.6	13.1	14.4	1.6	0.2
一般機械	18.4	14.0	23.4	20.5	12.4	23.1	24.9	5.7
電気機器	14.5	10.3	18.4	18.4	12.2	19.4	15.0	2.9
半導体等電子部品	10.1	22.0	32.2	31.4	23.2	22.7	2.0	0.5
I C	8.1	12.3	30.4	15.5	5.2	11.4	1.1	0.1
映像記録・再生機器	▲21.5	▲22.9	▲24.0	32.0	29.3	▲6.3	0.6	▲0.0
音響・映像機器の部分品	27.2	▲4.7	▲11.7	10.9	41.5	15.0	0.2	0.0
電気回路等の機器	18.4	16.7	19.0	14.5	3.5	20.8	1.6	0.3
輸送用機器	4.8	▲6.6	23.0	11.8	16.8	21.9	35.6	7.7
自動車	▲3.3	▲10.4	21.3	13.7	18.7	27.5	25.0	6.5
自動車の部分品	19.0	▲1.0	22.5	11.5	13.4	14.0	6.1	0.9
その他	▲4.0	25.3	14.7	18.4	18.1	20.8	9.9	2.1
科学光学機器	4.4	18.0	22.0	15.6	0.5	8.3	2.1	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01	2015/02	2015/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.4	▲1.3	6.8	7.4	1.9	9.1	100.0	9.1
食料品	34.2	32.1	21.8	▲9.2	31.2	8.9	0.3	0.0
原料品	▲27.1	▲22.4	▲6.0	▲28.6	▲15.3	▲10.6	1.0	▲0.1
鉱物性燃料	▲90.5	▲1.2	9.3	▲44.5	20.7	▲41.0	0.1	▲0.1
化学製品	9.8	▲3.1	6.6	3.4	6.3	3.0	9.1	0.3
原料別製品	12.2	▲4.6	4.5	6.4	5.6	10.4	7.5	0.8
鉄鋼	4.0	11.2	8.3	21.2	▲0.9	21.7	1.4	0.3
非鉄金属	41.8	7.4	20.1	79.9	41.2	42.3	1.0	0.3
金属製品	12.0	▲18.6	▲3.5	▲6.2	5.3	14.2	1.5	0.2
一般機械	8.5	▲0.2	6.2	▲1.5	0.4	2.5	25.4	0.7
電気機器	7.7	▲4.5	2.7	4.3	▲2.1	▲3.1	17.6	▲0.6
半導体等電子部品	21.3	20.3	4.0	▲2.5	1.3	▲10.3	2.5	▲0.3
I C	11.4	19.8	0.4	▲15.4	▲5.4	▲20.2	1.4	▲0.4
映像記録・再生機器	▲16.8	▲39.1	▲28.0	▲8.4	▲40.4	▲51.2	0.7	▲0.8
音響・映像機器の部分品	▲47.9	▲13.1	▲17.8	12.5	16.9	46.4	0.6	0.2
電気回路等の機器	12.9	▲2.4	8.5	8.1	▲4.4	▲7.7	1.7	▲0.2
輸送用機器	5.6	4.3	5.9	21.7	11.1	18.2	23.2	3.9
自動車	11.8	3.1	15.1	16.2	20.4	9.2	13.3	1.2
自動車の部分品	▲7.9	▲4.0	▲2.6	13.8	5.0	15.4	4.9	0.7
その他	7.4	▲3.0	16.6	13.4	▲8.0	33.1	15.8	4.3
科学光学機器	10.7	9.1	5.5	20.5	6.0	3.7	3.2	0.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01	2015/02	2015/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.4	5.8	10.9	22.6	▲1.0	6.7	100.0	6.7
食料品	17.0	9.5	6.6	67.0	12.2	31.7	1.0	0.2
原料品	9.1	▲0.4	6.9	14.4	▲9.7	5.3	2.4	0.1
鉱物性燃料	10.7	▲7.0	23.2	▲12.0	▲26.9	▲39.9	1.7	▲1.2
化学製品	7.2	3.8	4.4	6.5	▲11.1	6.1	14.5	0.9
原料別製品	6.7	4.1	7.1	13.9	2.0	5.3	16.0	0.9
鉄鋼	9.0	2.4	10.3	6.8	3.5	▲0.5	7.2	▲0.0
非鉄金属	10.1	15.5	6.6	20.6	11.5	20.5	3.3	0.6
金属製品	0.0	▲3.0	4.5	25.5	▲8.5	4.5	1.8	0.1
一般機械	5.1	3.0	6.3	24.7	▲8.1	4.8	19.8	1.0
電気機器	11.2	9.2	15.6	31.2	5.7	8.6	20.8	1.8
半導体等電子部品	9.2	14.8	18.7	27.0	10.8	14.8	7.7	1.1
I C	8.6	15.1	21.7	26.9	12.7	14.8	5.3	0.7
映像記録・再生機器	▲5.0	8.0	▲8.8	52.9	▲1.7	▲24.6	0.5	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲14.3	▲14.9	0.2	31.1	▲17.0	▲13.5	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	11.3	3.2	11.3	24.7	4.6	9.2	3.3	0.3
輸送用機器	18.3	▲6.4	▲3.3	26.4	▲7.1	12.2	9.0	1.0
自動車	13.6	6.9	2.5	28.7	▲10.8	2.5	4.0	0.1
自動車の部分品	▲3.0	▲9.2	▲5.8	4.9	▲9.1	▲2.5	3.3	▲0.1
その他	18.5	20.3	30.1	43.9	18.4	14.8	14.9	2.0
科学光学機器	15.5	11.8	13.4	24.2	▲3.9	5.5	4.2	0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01	2015/02	2015/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	7.2	0.8	4.2	20.8	▲17.3	3.9	100.0	3.9
食料品	39.1	23.3	▲1.3	79.7	33.9	70.8	0.6	0.3
原料品	0.2	▲7.5	5.1	27.1	▲30.8	10.6	3.6	0.4
鉱物性燃料	▲49.5	▲20.9	123.5	▲54.0	▲27.2	40.3	1.1	0.3
化学製品	0.4	▲1.8	3.3	6.4	▲23.4	8.4	16.3	1.3
原料別製品	4.0	▲4.0	2.0	23.5	▲14.0	10.7	13.9	1.4
鉄鋼	2.4	▲15.7	1.5	▲1.7	▲14.9	▲5.3	4.6	▲0.3
非鉄金属	29.0	29.3	16.5	60.9	9.7	52.5	3.7	1.3
金属製品	▲7.7	▲4.4	▲9.3	30.0	▲29.6	▲0.9	1.8	▲0.0
一般機械	6.5	▲6.7	▲2.2	26.8	▲27.0	2.9	21.1	0.6
電気機器	15.6	10.3	14.3	31.9	▲2.1	6.7	22.0	1.4
半導体等電子部品	7.5	17.0	20.8	11.0	0.6	13.4	6.9	0.9
I C	12.2	23.2	37.2	17.5	8.9	26.2	5.0	1.1
映像記録・再生機器	▲14.1	10.9	▲7.7	140.8	36.4	▲36.4	0.7	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲11.7	▲7.2	▲3.5	33.2	▲28.2	▲35.4	0.7	▲0.4
電気回路等の機器	19.7	4.7	14.6	35.1	▲3.2	6.3	3.7	0.2
輸送用機器	7.0	▲7.8	▲23.1	0.7	▲39.5	▲30.6	7.1	▲3.3
自動車	14.3	▲0.7	▲29.5	▲2.8	▲55.4	▲49.6	2.5	▲2.6
自動車の部分品	▲0.1	▲16.7	▲20.1	0.8	▲24.4	▲14.8	4.3	▲0.8
その他	14.5	16.2	20.3	33.4	2.1	11.1	14.3	1.5
科学光学機器	15.1	20.8	20.5	31.5	▲6.4	3.4	6.8	0.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成